植木病院だより

Vol.7
平成18年10月

発行所 〒861-0136 熊本県鹿本郡植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117 植木町国民健康保険 植木病院 発行人 鳥越 義継



メタボリックシンドローム



植木町国民健康保険 植木病院
院 長 鳥越 義継

13号台風も身構えていた割には大きな被害も無くて済みました。彼岸花が咲き誇り、稲穂も色付いて朝夕にめっきり秋の気配を感じます。

天高く馬肥ゆる食欲の秋を迎える訳ですが、過度の肥満には注意が必要です。最近新聞やTVでメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）という言葉をよく見聞きします。これは簡単にいえば肥満、高血圧、高血糖、高脂血症などを複数合併し、ひいては心筋梗塞や脳梗塞などの重篤な疾患につながりかねない危険な病態を意味しますが、大切なことはこれが主として生活習慣に起因することが多い点です。

高齢社会を迎え増えつづける医療費に対する中長期的対策として、国は今年の4月から本腰を上げてこのメタボリックシンドロームを減らす取り組みを始めました。植木町は平成15年度から取り組んだ「国保ヘルスアップモデル事業」を通して得られた大きな成果をもとに、今年度から健康日本21植木計画「健康づくり田原坂大作戦」をスタートさせました。

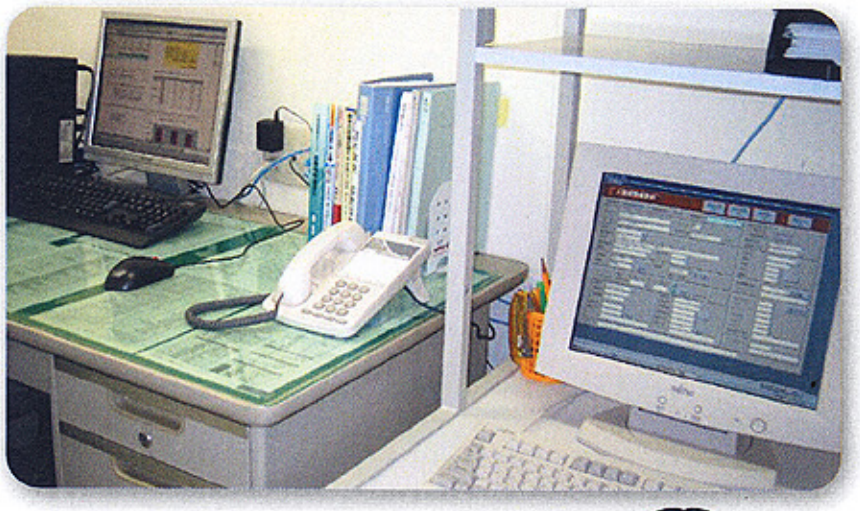
当院も高血圧、高血糖、高脂血症の患者さんに対し、医師、看護師、理学療法士、栄養士などが組織横断的に生活習慣の指導管理をおこない、メタボリックシンドロームの予防、治療に努めています。このように地域を挙げての取り組み体制が整ったことは喜ばしい限りです。

そうは言うものの自身を振り返ってみると、生活習慣の中で食事、運動、心身の休養、飲酒、喫煙など特に関連が深い項目どれ１つ取ってもお寒い限りで反省しきりです。高齢化に向かう団塊世代の一員の責務として密かにどれか１つでも取り組まなくてはと思っている毎日です。

部署訪問

今回は診療情報管理室を紹介します。

●診療情報管理室の紹介



平成17年4月に開設した部署で、診療録の管理を診療情報管理士の資格を有するスタッフ1名で行っています。

病院では患者様の治療内容やその結果を、診療録（カルテ）として、またコンピューターデータとして保管管理しています。この情報は、患者様が再び病院に訪れた時の早期診断や早期治療のために大変重要な情報です。

診療情報管理室はこれらの情報を管理し、必要に応じて提供をするところです。

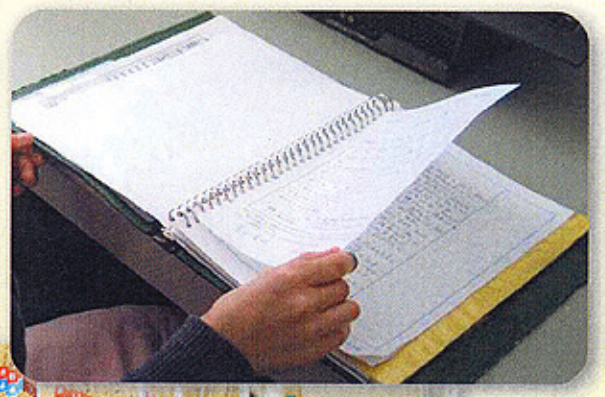
●診療情報管理士とは



患者様には聞きなれない職種ですが、診療記録や診療情報を適切に管理し、そこに含まれるデータや情報を加工、分析、編集し活用することにより、医療の安全管理、質の向上及び病院の経営管理に寄与する専門職です。

●診療情報管理士の誓い

1．私たちは、診療情報管理に関わる法令や諸規則を遵守し、誠実に業務を遂行します。
2．私たちは、個人の権利を尊重し、すべての診療情報を差別することなく安全に管理します。
3．私たちは、プライバシーの保護を徹底し、職業上知りえた秘密を絶対に漏らしません。
4．私たちは、診療情報を目的外に利用すること、事実を覆い隠すこと、また事実と異なる改変をすることを受け入れません。
5．私たちは、診療情報を科学的に活用し、真に患者のための医療に役立てることを目指します。
6．私たちは、常に研鑽を積んで専門的能力を高め、他の職種との協調・連携に努めます。
7．私たちは、診療情報管理士としての自覚と誇りをもって責務を全うします。





●主な業務内容

1．診療内容の点検と診療録の保管・管理
2．入院病名のICD10（国際統計分類）コーディング
3．各種情報をデータ入力することによって得られるデータベースの分析と情報提供

※患者様のために、いつでもすぐにカルテや情報を提供できるようにするのが目標です

●個人情報保護について

当院では、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えています。診療情報管理室は多くの個人情報を取り扱うため、その法令・規範には徹底した教育を受け遵守に努めています。



TOPICS 「健康教室」が開催されました。

8月23日（水）「胃腸と健康」というテーマで当院内科科長の合志和人医師による講演会が行われました。13時より約1時間、胃腸の解剖や働き又ピロリ菌やO－157等の微生物について説明がありました。さらに胸焼け・便秘・下痢の症状や対策について話があり、元気で生活するためには毎日の食生活が基本（腹八分目に医者要らず）であることを分かりやすく講演されました。参加者から「職業柄、唐辛子を多量に食べているが身体に悪くないか」という質問もあり医師との活発な質疑応答がありました。毎回、講演終了後に血圧や血糖測定、健康相談や栄養相談を行っています。当院の「健康教室」は、年4回計画されています。次回の「健康教室」は、代謝内科医師の講演と栄養療法の食事会を予定しています。どなたでも参加できますが食事会は予約が必要です。お早めにお申し込み下さい。スタッフ一同お待ちしております。



診療情報便り

ウイルス肝炎治療の進歩と肥満による肝臓病



1．ウイルス肝炎治療の進歩

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、肝臓の病気は、自覚症状のないままに進行することが多いというのが特長です。今回は主にウイルス肝炎の治療の進歩と、肥満による肝臓病について述べさせていただきます。ウイルス肝炎のうち、今回は、B型とC型肝炎について記載します。

1－1．B型肝炎、肝硬変の治療

B型肝炎ウイルスは血液を介して伝染する病気です。乳幼児期に体内に入るとB型慢性肝炎になる恐れがあります。最も多いのは母児間感染で（垂直感染）、出産時に産道を通る時に感染します。昭和60年からは、母児間感染を予防するために、B型肝炎ウイルスを持っているお母さんから生まれた新生児には予防注射を行うようにり、B型慢性肝炎の発生が激減しました。

成人になってから感染したB型肝炎は、ほとんどの場合、一過性に肝炎を起こしたのち、自然治癒します（水平感染）。現在問題となっているのは、母児間感染予防がなかった昭和60年より前に生まれてB型慢性肝炎になっている方の場合です。

平成になって、B型慢性肝炎に対するインターフェロンの効果が発見されましたが、必ずしも満足のいく治療ではありませんでした。

平成12年にラミブジンが使えるようになって、B型慢性肝炎から肝硬変への移行を防ぐことができるというので治療は大きく進歩しました。ただ、約半数の方に、数年の間に耐性株が出現するようになりました。しかし、この耐性株に対しても、アデホビルが開発され、平成16年より、保険でも使用することができるようになりました。また、B型肝硬変の方も適応となりました。本年9月21日、さらに強力な内服薬（エンテカビル）も発売されました。B型肝炎、肝硬変になっていても、十分ウイルスの増殖を抑えて肝臓を守ることができる時代となりました。

1－2．C型慢性肝炎、肝硬変の治療

C型慢性肝炎は、B型と異なり、成人で感染しても、約8割が慢性肝炎になります。C型肝炎ウイルスにはセロタイプ1、セロタイプ2の2種類があります。インターフェロン治療の成績を左右するのが、このセロタイプとウイルスの量です。

従来はC型慢性肝炎の治療は、インターフェン注射で行われてきましたが、治癒する率は高くありませんでした。特に日本人に一番多い、セロタイプ1、かつ、高ウイルス量の方の治癒率は1割を切っていました。

平成16年より始まった、レベトール内服+ペグインターフェロンの週1回注射によって治癒率は大幅にアップしました。前記の難治性（グループ1、ウイルスが多い）の方でも約5割が治癒するようになりました。難治性以外の治癒率は7～8割となりました。

また、C型肝硬変では保険適応がなかったのですが、平成18年4月になって、難治性以外であればばインターフェロン治療の適応となりました。この場合の治癒率は4割弱です。

2．肥満による肝臓病

ウイルス以外では、アルコールによって脂肪肝から肝硬変になることはよく知られていました。

最近では、肥満による脂肪肝からも肝硬変、肝癌に進展することがわかってきました。肥満に伴う高血圧、高脂血症、糖尿病（メタボリックシンドローム）は近年、増加傾向にあります。このような肥満の方は、非アルコール性脂肪肝炎となり、肝硬変・肝癌になる恐れがあります。ウイルス肝炎治療が進歩している一方で、肥満にともなう肝疾患が増加しています。

このような時代の変化により、当院では、ウイルス肝炎、脂肪肝炎に対しての生活指導、内科的治療を積極的に行っています。

外来からのご案内

◇健診科
①人間ドック（オプション有ります。）
●日帰りコース　●通院2日コース　●1泊2日コース
②生活習慣病予防健診
③企業健診
④乳がん検診　触診とマンモグラフィー（町の助成金有り）
（お問い合わせは、国保植木病院
医事係　TEL096-273-2111内線101）

◇健康教室:3ヶ月に1回（5月・8月・11月・2月に実施予定）
内　容:食事会と講演会
場　所:国保植木病院　2階会議室

◇糖尿病教室:毎月第1・2・3木曜日　国保植木病院2階会議室
（お問い合わせは、国保植木病院　外来内科
TEL096-273-2111（内線140）

外来診療のご案内

（平成18年10月1日現在）

診療科＼曜日	午前午後	診察室	月	火	水	木	金	土
内科	午前	第一診察室	勇	勇	勇	勇	勇	担当医
		第二診察室	山城	合志	合志	山城	合志	
循環器科		循環器診察室	新冨	鶴田	上村	鶴田	福永	
外科		外科診察室	鳥越	久米	犬塚	久米	犬塚	担当医
整形外科		整形診察室	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	
脳神経外科		脳外科診察室				担当医		
神経内科	午後	脳外科診察室				担当医		
午後 総合診療科		外科診察室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

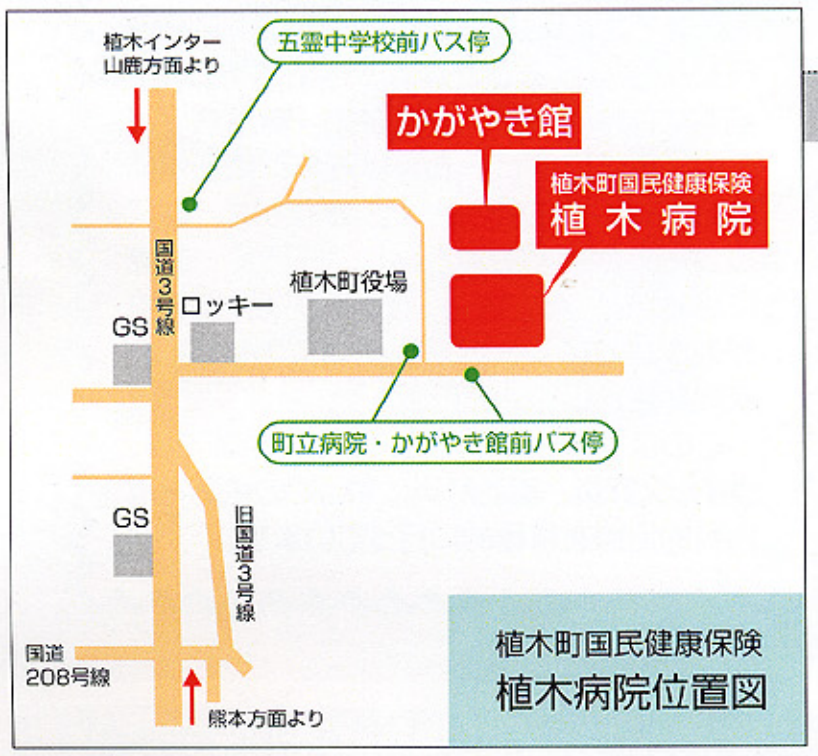
① 午後は総合診療科として担当医が対応し、必要な場合は各科医師が対応します。
② 土曜日は外科・内科で各科担当医が対応します。
③ 脳神経外科は第2・第4木曜日の午前中のみです。
④ 神経内科は第1・第3木曜日の午後(15時～17時)のみです。
⑤ 当院では再診予約制を取っております、診察時に次回予約を取って下さい。
また、予約変更の電話については、午後にお願いします。

診 察 日:月曜日 ～ 土曜日
休 診 日:土曜日の午後・日曜日及び祝祭日
年末年始(12月29日から翌年1月3日)
受付時間:平　日／午前 8:30 ～ 午前 11:30
午後 1:00 ～ 午後　4:30
土曜日／午前 8:30 ～ 午前 11:30
※ただし、急患の方は、これに限らず対応致します。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」を平成14年12月に開設しましたので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
担当者：前田 由美
電　話：TEL096－273－2111（代表）
096－272－0854（直通）
FAX096－272－0854（直通）



植木町国民健康保険
植木病院位置図

交通アクセス

九州産交バス
「町立病院・かがやき館前」バス停下車
熊本ー山鹿線をご利用の方は、
「五霊中学校前」バス停下車徒歩5分

乗　用　車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

編集後記

前回産休直前に編集後記を書かせていただき、早いもので1年半が過ぎました。現在職場復帰し、仕事、育児、家事に追われ、慌ただしい毎日を送っています。子供といえば、保育園に行くようになり半年がたちますが、頻回に病気し、治ったと思えばまた風邪!!まるで保育園に病気をもらいに通っているようです。現在も全身に原因不明の発疹が!!と思ったら風疹でした…

病気の度に両親にお世話になり、おかげで仕事を続けることができ大変感謝の毎日です。子供とゆっくり触れ合う時間が休日しかなく、少しかわいそうな気もしますが、毎日たくさんの事を学び成長していく我が子の姿を見ることが今一番の楽しみです!!

薬局　栄人